

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・各種クーポン券の発行やクーポン使用率が上がり、結果的にやや高額な消費がみられる。
	◎	その他サービス [葬祭業] (経営者)	お客様の様子	・今月は遠方からの客が多く、また、紹介というか、当社で葬儀を行った客から話を聞いて相談に来たという人も多くいる。仏壇の処分もかなり多い。
	○	商店街 (代表者)	来客数の動き	・緊急事態宣言発出から最悪の状態が続いていたが、解除後は多少人出が戻ってきている。ただし、喜んでよいのか複雑な心境である。
	○	商店街 (代表者)	販売量の動き	・高校入試が終わり、新入生の注文が集まった。新型コロナウイルスの影響で悪いと心配していた以上に注文数があり、思っていたよりは良い状況である。
	○	百貨店 (営業担当)	来客数の動き	・前年は既に新型コロナウイルスの影響が出ていた時期なので、前年比ではプラスになっている。ただし、一昨年と比べると、決して良いわけではない。
	○	スーパー (経営者)	来客数の動き	・今月は、1年ぶりのイベントが大型ホールで開催されスタッフの弁当注文を昼夜合わせて110食受けている。これから少しずつイベントも増えていくのではないかと。当市は県の警戒レベル4なので、月末日曜日の地区の踊りのイベントは中止となっている。当市の新型コロナウイルス陽性患者が再び増えてきて、近隣の病院でも受入れが始まる。年度末のため、総会の折詰弁当の注文も増えてきている。
	○	スーパー (副店長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスワクチンの接種も始まり、まだ楽観はできないが、久しぶりに明るい話題となり、客も少し安心したように感じる。
	○	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・比較的暖かい日が続いており、1月と比べて客の動き、来客数がやや良い方向に向かっている。
	○	コンビニ (経営者)	お客様の様子	・暖かくなり、高齢者の来客数が増えている。緊急事態宣言の解除が、客数の増加につながっている感じもする。
	○	コンビニ (エリア担当)	販売量の動き	・客単価が上昇してきている。
	○	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・大雪の影響で落ち込んでいた新車販売が増加に転じている。
	○	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・車検及び一般整備は、目標をクリアできている。中古車販売は今一つだが、新車購入の商談が多くなってきており、ふだんより早めに契約になるケースが多い。全国ネットのニュース等でも何度か紹介されたが、関東甲信越のなかで、当県が新型コロナウイルスの感染者数が非常に少なく推移していることも影響しているように思える。
	○	自動車備品販売店 (従業員)	来客数の動き	・このところ、来店客数が伸びてきており、やや良くなってきている。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍ではあるが、天候的にも動きが良くなっているためか、年度末行事での来客は多い。
	○	都市型ホテル (支配人)	単価の動き	・前月と比べて宿泊客は増えているものの、価格の安い宿泊プランに集中している。また、同業他社もインターネットで格安プランを販売しているため、思うようには伸びない。
	○	遊園地 (職員)	来客数の動き	・3か月前と比べて、修学旅行の団体受入れや春休みシーズンを迎えたこと、緊急事態宣言の解除に伴い、来場者は増加傾向にある。
	○	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・3月前半は前月と同じような動きだったが、後半に入り、緊急事態宣言が解除され、少しずつ客が戻り始めている。春休みに入ってから学生が活発になっている。
	□	一般小売店 [家電] (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、販促営業活動がなかなか思うようにならず、苦労している。
	□	スーパー (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の初期から1年が過ぎ、売上は前年と比べて落ちると予測していたが、ほぼ前年並みとなっている。

	□	スーパー（経営者）	単価の動き	・食品スーパーでは、前年3月には新型コロナウイルスの特需が始まっており、前年と比べると厳しい状況だが、比較的安定した売上は確保できている。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・年度末ということもあったかもしれないが、客の流れが通常年や通常日と違ってきている。来店時間帯等が少し移り変わってきて、今後どうなっていくのかみえてこない。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・人が動かないため、春夏物が動かない。
	□	旅行代理店（副支店長）	それ以外	・新型コロナウイルスにより客の動きがみられない。Go To事業も一時停止が継続されており、首都圏の緊急事態宣言が解除されても、自粛ムードは変わらない。自治体の支援事業も県内宿泊のみで、マンネリ感のためか反響が薄い。
	□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・地方での新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、新規加入も、相変わらず低調である。
	□	通信会社（社員）	お客様の様子	・引越しのピークを迎え、出入りはふだんより活発なもの、新規の問合せが極端に多いわけではない。
	□	観光名所（職員）	来客数の動き	・春の観光シーズンを前に、問合せや予約は増えつつあるが、景気回復には程遠い。
	□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・ゴルフ場の予約や来場者数は、例年どおりである。
	□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・依頼数の多い状況が続いている。
	□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・依然として、当地への客の入込は低調である。
	▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず新型コロナウイルス禍ではあるものの、人の動きは、今まで我慢していた外食へ流れ出してきた。ただし、その他への購買意欲は今一つで、買い控えというよりも落ち着いていて、必要ならば購入するが必要でなければ購入しない。
	▲	家電量販店（店長）	来客数の動き	・今月は前年に比べて、集客率が1割減で推移している。
	▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・1～2月のどん底は過ぎ、県独自の観光誘客キャンペーン等の効果もあって、やや上向き傾向になっている。それでも、売上は例年の半分以下と厳しい状況が続いている。Go To事業の停止直後の3か月前と比較しても、やや悪い。
	▲	タクシー運転手	販売量の動き	・前年の3月は、その前年、前々年と比べて70%の売上だった。今月は前年比100%はいくと思ったが、なかなか難しく、90%で終わりそうである。月前半は良かったが、後半は少し落ちてきている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・当地の新型コロナウイルスの新規感染者は収まったが、街へ出掛けてくる客が少なくなってしまう、ゴーストタウンになっている。物販店で閉店する店も、ちらほら出ている。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・このところ当市の新型コロナウイルス感染者数がかなり増えている。先日、当市は県の警戒レベル5になったため、営業どころの話ではない。早く時短要請と協力金を用意してほしい。営業していても客は、ほぼ来ない。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きと回答したが、選択肢の全てに該当するような気がする。とにかく本当に景気が悪い。50年近くやっているが、こんなことは初めてである。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前の12月はまだGo To Travelキャンペーンの実施中だったので、12月と比べると宿泊は20%ほど落ちている。Go To Eatキャンペーンは3月後半にやっと再開されたが、レストランの動きもキャンペーン中であつた12月からは20%ほど落ちている。
	×	その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が、再び増加し始めている。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
	○	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先からの案件数は、全体的に増えてきている。

(甲信越)	○	金融業（調査担当）	取引先の様子	・景況感は製造業を中心に改善の動きがみられる。ただし、製造業や非製造業でも、業種間格差がある。
	□	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・業務関係の出荷は大幅に減少し、工場見学者も緊急事態宣言発出の影響で少なく、在庫もかさんで大変厳しい状況にある。
	□	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今のところ、売上や販売量が良化の兆しは見えない。変わらず良くない状況と判断する。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製品受注、販売量共に、低迷している。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波が収まらないなか、変異種の感染拡大懸念等、先行きに対する不安感が拭えていない。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス関連で、企業が疲弊してきている。取引先も最初は明るく「今は我慢」と話していたが、最近では悲壮感が漂っている。瞬間的な経営ではなく、この先を見ても、厳しい状況に陥っていると感じられる。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	取引先の様子	・各店舗は事業継続のため、売上を確保しなくてはならない。そのため、今までは積極的な顧客へのアプローチを遠慮していたが、順次、客への声掛けを行いながら、売上確保を目指している。少しずつ売上を積み上げているといっても、前年比では2割ダウンとのことである。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末で若干、工事は出てきているものの、地域経済に活気はなく、停滞気味である。
	×	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・店での販売点数が2～3割落ちている。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・全体的に求人数が増加してきている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・雇用調整助成金の申請も落ち着いている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・需給調整機能として、派遣求人が回復基調である。
	□	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・平日や休日の駅前等、買物客の動向を見ても、買物袋を提げた人は少ない。周囲で新車を購入した話も聞かない。消費は増えていない。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・例年3月は、パートやアルバイトの募集広告を掲載する企業が多いものの、前年に引き続き、現在も新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため、特に、飲食やサービス業等の募集は減少したままである。
	▲	—	—	—
×	—	—	—	